

2026 年 10 月 20 日

株式会社エヌ・シー・エヌ

エヌ・シー・エヌの「SE 構法」を採用した大規模木造店舗 「無印良品 那珂川」「無印良品 精華台」が 令和 8 年度 木材利用推進コンクールにて「優秀賞」を受賞



木造建築プラットフォーム企業 株式会社エヌ・シー・エヌ（東京都千代田区、代表取締役社長：田鎖郁男、以下エヌ・シー・エヌ）が「SE 構法」を用いて構造設計、資材供給などをサポートした大規模木造店舗「無印良品 那珂川」（福岡県那珂川市）および「無印良品 精華台」（京都府相楽郡精華町）が、このたび木材利用促進中央協議会が主催する「令和 8 年度木材利用推進コンクール（優良施設部門）」において「優秀賞」を受賞いたしました。

■ 受賞の背景と評価ポイント

木材利用推進コンクールは、特色ある木造施設や地域材の積極的な利用拡大に取り組む施設・企業を表彰し、国産材利用と木造建築の普及を図る全国規模の表彰制度です。

今回の受賞におきましては、「無印良品 那珂川」および「無印良品 精華台」の両店舗において、最高ランクの『ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビルディング）』認証を取得した高い環境性能に加え、構造躯体や内装材への積極的な地域材活用、開放的な一室空間を実現する「SE 構法」の導入など、環境負荷低減と地域の持続可能性を両立させた建築デザインが高く評価されました。

エヌ・シー・エヌでは、2024 年に大規模木造建築で国内初となる『ZEB』認証を取得した実績を契機に、今後も地域社会や環境に配慮した高品質な木造建築の普及を通じて、脱炭素社会の実現と地域資源の循環に貢献してまいります。

■ 「SE 構法」を活かした両店舗の主な特長

1. 「無印良品 那珂川」(2026 年 3 月 13 日オープン)

太陽光パネルや全熱交換器などの高効率な省エネ設備を導入し、最高ランクの『ZEB』認証を取得した大規模木造店舗です。構造躯体および仕上げ材において約 258 m³の木材を使用し、190(tCO₂)の炭素貯蔵量を実現しています。

外壁には福岡県産のスギ材を採用したほか、店内の壁面や家具等には地域産の木や土、藁、博多織の端材などを取り入れ、土地の記憶を伝える温かみのある空間を創出しています。「SE 構法+燃え代設計」により、柱断面 300 角・7m スパンの柱グリッドによる開放的な大空間を実現しています。



2. 「無印良品 精華台」(2026 年 6 月 19 日オープン)

本州初となる無印良品の大規模木造店舗であり、商業地域かつ厳格な規制のある「防火地域」への建築条件をクリアした物件です。躯体と仕上げを合わせて約 259 m³の木材（炭素貯蔵量 206 tCO₂）を使用し、外装・内装や什器には京都府産のスギ材を採用しています。

太陽光パネル・蓄電池・全熱交換器の組み合わせにより『ZEB』認証を取得するとともに、停電時の特定負荷利用機能を備えることで、地域の防災拠点としての役割も果たします。また、90 分準耐火構造の外壁や防火区画の設置など、高い防火・安全技術を備えた「延焼防止建築物」として計画されています。



■ 物件概要

項目	無印良品 那珂川	無印良品 精華台
所在地	福岡県那珂川市道善 5 丁目 36	京都府相楽郡精華町精華台 6-2
オープン日	2026 年 3 月 13 日	2026 年 6 月 19 日
構造・階数	木造平屋建て (SE 構法)	木造平屋建て (SE 構法)
延床面積	1,839.27 m ² (556 坪)	1,784.30 m ² (540 坪)
地域地区	準住居地域、法第 22 条区域	商業地域、防火地域
構造区分	準耐火構造	延焼防止建築物
柱断面 / スパン	300 角 / 7m スパン	300 角 / 7m スパン
環境性能	『ZEB』認証	『ZEB』認証

【参考情報】

<これまでの木材利用推進コンクール受賞実績>

第 1 回 (令和 6 年度): 「無印良品 唐津」(佐賀県唐津市) 優秀賞

第2回（令和7年度）：「無印良品 日田」（大分県日田市） 優秀賞

第3回（令和8年度）：「無印良品 那珂川」（福岡県那珂川市） 優秀賞（今回）

「無印良品 精華台」（京都府相楽郡） 優秀賞（今回）

■エヌ・シー・エヌの取り組み

エヌ・シー・エヌはこれまで良品計画が中期経営計画で掲げる「ESG トップランナー」の思想に基づき、2024年に誕生した「無印良品 唐津」「無印良品 日田」から木造化を支えてきました。「無印良品 精華台」では無印良品の木造店舗として初めて、防火対策において厳しい基準が設けられている地域に対応した木造サステナブル建築を全面サポートいたしました。

現在、脱炭素社会の実現に向けて建築物の木造化への関心が高まる一方、市街地などの「防火地域」における大規模建築は、火災時の安全確保の観点から鉄骨造や RC 造を選択するのが業界の常識でした。また、中大規模建築の木造化は、特殊な資材や複雑な設計プロセスにより「鉄骨造に比べてコストが高くなる」という経済的な壁も存在していました。

エヌ・シー・エヌは今後、最先端の建築 DX（BIM）と自社開発の構造・環境設計、そして効率的な資材調達までを包括した「木造建築プラットフォーム企業」として、これまでネックとされていた「規制」と「コスト」の壁を破り、木造における計画可能な経済合理性を実現し、日本の脱炭素社会を力強く牽引してまいります。

※株式会社 MUJI HOUSE は「無印良品」の木造店舗の設計・施工を一手に担う企業です。

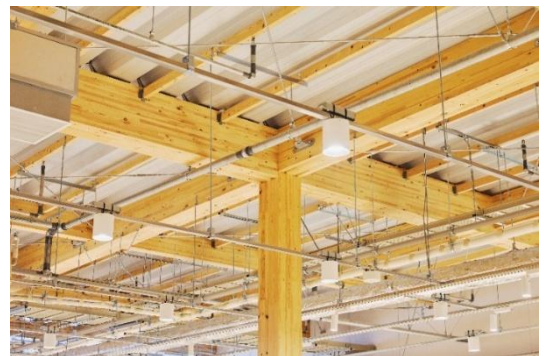
■エヌ・シー・エヌの技術

1. 火災時、すぐに崩壊せず「安全に逃げる時間」を稼ぐ防火基準をクリアし、木の魅力をそのまま魅せる「燃え代設計」

火災時に木材の表面が燃えることをあらかじめ想定し、構造上必要な断面にその分の余裕を持たせて設計する「燃え代設計」を採用しています。万一の火災時にも表面の炭化層が内部への燃え進みを抑制し、建物の延焼による倒壊を防ぎ避難時間を確保します。

今回の設計では、最新の建築基準法改正の内容を踏まえて耐火被覆の範囲を綿密に見直し、構造材の「木の現し」をより広く実現しました。また、木の見え方に配慮した設備機器の設置ルールを独自に設けて施工することで、木本来の美しさを最大限に活かしています。

なお、この「木造なのに火災に強い（「木の現し」や「燃え代設計」）」という仕組みの詳細について、事前にメディア向けに開催した見学会においても、質問を多くいただく関心の高いポイントとなりました。



▲燃え代設計を取り入れた柱部分

2. エヌ・シー・エヌの「環境設計」

エヌ・シー・エヌはこの木造化による環境価値を精密に構造計算・数値化いたしました。

林野庁のガイドラインに基づく算出の結果、長距離輸送による CO2 排出削減効果にとどまらず、建物全体で炭素を長期間にわたって街の中に貯蔵することが証明されました。これは、良品計画が目指す「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量の削減」という高い ESG 目標に大きく貢献するものです。

単なる感覚的な環境配慮ではなく、エヌ・シー・エヌの確かな技術力で環境価値を「データとして可視化」することにより、良品計画のサステナブルな店舗開発のビジョンを技術面から強固に支えています。

■SE 構法とは

「SE(Safety Engineering)構法」は、従来、鉄骨造や RC 造において主流だったラーメン構法を木造住宅に取り入れ、安全かつ便利に利用できるようにシステム化したエヌ・シー・エヌ独自の木造建築システムです。

軸組部分には高精度な構造用集成材、接合部には独自開発の高強度な SE 金物を使用することで、圧倒的な構造強度を実現します。すべての建物に構造計算を実施、そのデータをもとに設計をすることで、優れた耐震性能と自由度の高い空間を兼ね備えた木造建築物を実現します。大開口、高い吹き抜けを自在に配置することができるので、パッシブな住宅、大規模木造建築として広く採用されています。

<https://www.ncn-se.co.jp/se/>

■会社概要

株式会社エヌ・シー・エヌ

<https://www.ncn-se.co.jp>

代表者：代表取締役社長 田鎖郁男

所在地：〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-13-5 赤坂エイトワンビル 7 階

T E L : 03-6897-6311 F A X : 03-6770-4228

設立 : 1996 年 12 月 11 日

資本金：3 億 9,150 万円（2026 年 3 月末現在）

従業員数：単体 100 名、連結 144 名（2026 年 3 月末現在）

□主な事業

- ・ 木造耐震設計事業
- ・ 建築環境設計事業
- ・ BIM 事業

□子会社

- ・ 株式会社 KINO BIM
- ・ 株式会社木構造デザイン
- ・ 株式会社翠豊

□関連会社

- ・ N & S 開発株式会社
- ・ 株式会社 MUJI HOUSE（無印良品の家）
- ・ SE 住宅ローンサービス株式会社